

あくまでも安全・安心を最優先にして学校を再開させていただきます。

全国のほとんどの公立小中高が6月1日までに学校を再開しました。みんなが再開するから大丈夫だろうとは言えませんが、各学年6回の登校日に行っていた新型コロナウイルス感染症拡大防止のための基本的な対策を、今後とも油断することなく、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

「学校再開後の新たな生活様式」や「ほけんだより」などにもわかりやすく説明してありますが、(1) まずはウイルスを学校に持ち込まなくて良いように、お家で検温と健康観察を丁寧に行ってもらい、発熱、せき、鼻水、のどいた、頭痛などの場合には、**大事をとって自宅で休んでもらいたい**と思います。(2) そしてくしゃみや咳でしぶきを飛ばさないために、また飛沫をできるだけ吸い込まないために**必ずマスクを着用**し、(3) ウイルスが手から手にうつり、目、鼻、口などから体内に入れないために、最も重要な手段としての**石けん手洗い**を、登校後、給食前、下校後など、丁寧に行ってほしいと思います。(「手洗いの8つのタイミング」が校内に掲示されており、生徒達はこまめに行っています。)(4) くしゃみは3m、せきは2mしぶきが飛ぶといわれていますので、たとえマスクをしていても、人とは少なくとも**1mの距離を保って話し**、(5) 密閉、密集、密接の空間を避けるために、**こまめに換気**をし、授業以外で**大勢の人が集まることを避け**、5分間の会話は1回のせきと同じ数の飛沫を生じることなので、**5分以上の会話を避ける**などの行動を、**あまり肩肘張らずにさりりと、忘れずに**していければなと思っています。

夏休みを短縮し、7限授業で学習の遅れを取り戻したいと思っています。

職員にも生徒にも感染者が出ずに、もう一度休校にならないことがあくまでも前提ですが、文部科学省が言っているような数年かけて学習の遅れを取り戻すのではなく、できれば2月までに取り戻したいと思っています。高校入試の出題範囲も授業の進み具合を見て配慮するように県教育委員会にも通知が出たようですが、学習内容を残したまま高校に進学するわけにもいきませんので、早く進んだら問題練習の時間を持ちたいと思います。

4月は16日間、5月は21日間臨時休業になりましたので、若狭町内のすべての学校において**1学期を実質的に7月31日(金)まで延長し、2学期を8月18日(火)から始める**ことにしました。これに加えて、本校では**6月9日(火)から毎週火曜日～金曜日に7限目の授業**をすることで、休んだ分を取り戻したいと思っています。

やっと学校が始まったと思ったら、毎日7時間授業でお腹いっぱいという生徒たちの恨み節が聞こえてきそうですが、学校の大きな役割の一つが学力をつけることである以上、あくまでも安全・安心を最優先にして感染予防対策に努め、また生徒たちの健康状態もよく見きわめながら進めていきたいと思っています。一方、冬休みの短縮については今後の状況を見て、若狭町教育委員会からまた指示が出ることになっています。

部活動はまだ自粛しますが、様子を見ながら段階的に進めていきます。

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せず、生徒や関係者の感染リスクがぬぐえないという理由で、今年度予定されていた全国中学校体育大会(全中)、北信越中学校総合競技大会福井大会、全日本吹奏楽コンクールの中止がすでに決定されています。オリンピック代表選手でさえも自宅でできることを工夫している現状の中、臨時休業の間も生徒達は、自分でできることを考えて、**前向きによくやってくれていた**と思います。

これからも生徒達が、たとえ無症状であっても**気をつける**、少しでも体調が悪ければ**休む**など、うまく新型コロナウイルスの感染拡大をコントロールしつつ、授業や給食、掃除などの学校生活を進めてくれていることが確認できましたら、部活動の再開も段階的に進めてまいりたいと考えています。今のところ、**6月18日(木)から火曜、木曜、金曜に50分程度、学校敷地内で取り組んでまいりたい**と考えています。こちらの方のご理解とご協力もどうかよろしくお願いします。

※若狭町管工事組合様から学校に消毒液を、若狭ライオンズクラブ様と三方五湖青年会議所様から生徒にマスクをご寄付いただきました。とても助かっています。有り難うございました。